

## あすみん通信⑤（令和5年11月号）

朝倉市男女共同参画センター あすみん

〒838-1592 朝倉市杷木池田 483-1

TEL：28-7595 FAX：63-3178

e-mail：danjo@city.asakura.lg.jp

### ＜就業支援 視覚障がい者同行援護従業者養成研修（一般・応用課程）を実施しました＞

8月26日～10月14日（秋分の日を除く土曜日、計7回）、朝倉地域生涯学習センターにて実施しました。アイマスクで視界を隠した状態での文字書きや、声かけに従った歩行など、身をもって感じる「見えない不安」に対して、どう援護するのが最善かなどを学びました。

卑弥呼の湯やイオン甘木でエスカレーター等を使用した演習も行い、みなさん和気あいあいながらも真剣に取り組んでいらっしゃいました。



#### 【参加された方の感想（アンケートより抜粋）】

- ◇ 見えない人の目になることが、こんなに難しいとは思いませんでした。
- ◇ 視覚障がい者の方の気持ちをほんの少しですが、体験できました。とてもよい時間を過ごせたことに感謝の気持ちがあります。研修自体もすごく良い参考になりました。皆さんと一緒に時間を過ごせて楽しかったです。



### ＜寄り添い支援講座を開催しました（3回/全5回）＞

「体験談 アスパラガス農家として加工品の販売、趣味の布小物をネットやミニ店舗で販売」、「押し花で彩るLEDキャンドル」（10月14日）

講師の中園氏と初田氏は同級生です。お二人はアスパラガス農家、小物類の創作販売とフィールドこそ違うものの、「自分の好きをカタチにした」という共通点があります。お二人とも、好きなことを仕事につなげる大変さの中に嬉しさと楽しさを見出し、現在はとてもやりがいを感じているというお話でした。



講座に参加された方からは、「二人の活動に元気をもらいました」「これから何かに挑戦したい気分になりました」といったポジティブな言葉が多く聞かれました。

「押し花で彩るLEDキャンドル」では、色とりどりの押し花を使用し、LEDキャンドルを華やかに飾り付けしました。円筒形の本体にどんな世界を表現するか、じっくり考えて仕上がった作品は、どれも個性が光るものとなりました。久しぶりに創作された方からも、「楽しい時間を過ごせた」「素敵な経験になった」というお声をいただきました。



## 《親子料理講座「ハロウィンパーティー」(10月21日)を実施しました》

オートミールクッキーの生地を指の形にしたり、チョコペンでおばけの顔を描いてみたり、出来上がった目玉ゼリーのクオリティーに驚いたり、ご家族で楽しそうに取り組まれていました。

ぜひ、ご家庭やお友達同士でもチャレンジしていただきたいと思います。

### 【参加された方の感想(アンケートより抜粋)】

- ◇ かんたんで、あまりじかんでもかからないから家でもつくってみようと思った。とってもおもしろいおりょうりきょうじつだった。
- ◇ 家とは違う環境で「料理」に取り組めるのは、とても良い経験になりました。



18組45名のご家族が、今年度の親子料理講座にご参加くださいました。どの講座も申込開始後すぐに募集定員に達したため、ご希望に添えなかった方々には大変申し訳なく思っています。

来年度もご家族で楽しんでいただけるような講座を計画していますので、どうぞお楽しみに！



## 《男女共同参画まちづくり講演会

### 「ぼけますから、よろしくお願いします。」(11月3日)を開催しました》

荒天のため7月から延期となった、男女共同参画まちづくり講演会。当日は天候にも恵まれ、市内外から300名を超える方々にご来場いただきました。

この映画は、認知症を発症した母親と耳が遠い父親の様子を、娘である信友監督自らが撮影したドキュメンタリー作品です。シビアな内容であるにもかかわらず、終始なごやかなムードに包まれていたのは、スクリーン越しに伝わってくる信友監督のお父様の人柄が大きいのだろうと感じました。

信友監督のお父様は、講演会の数日前に103歳のお誕生日を迎えられました。地域の方々とのつながりもあり、ひとり暮らしでも「独り」ではない生活を送っていらっしゃる。助け合い、支え合い、思いやることの尊さについて、あらためて考えることができた講演会となりました。

### 【参加された方の感想(アンケートより抜粋)】

- ◇ リアルな映画を見たのは初めて。大変印象に残った。だんだんと認知症が進んでいくことは本人が一番怖いだろうと思った。映画後の講演は新鮮でいいと思った。
- ◇ 家族のことを「あきらめない」という言葉が、自分のことを振り返る機会となったと思います。ぶつかっても真剣に向き合うことで見えることがあるのかと思いました。
- ◇ 同じ経験をしましたので涙が止まりませんでした。もっとたくさんの方に知ってほしい作品でした。
- ◇ 支え合って生涯を終えることは、大変難しいことだと思うのに、このご両親の生き方に凄さを感じました。今から迎える最後の時を大事にと思いました。

